

競技番組

要項上、種目毎に最大出場者を定めております。例年、参加者数不振の種目があり、結果的に2日間開催の期日に収まっておりましたが、お陰様で今年は多くの種目で多数の参加申込みを頂きました。すべての種目において最大出場者数の参加者を迎えて大会を開催することは時程表上困難なこと、および昨今の競技レベルの向上によりボーダーラインをまたいで同レベルの多数の選手の参加申込みがあり、公平な一定の基準で参加者を決定した結果、最大出場者数以下で実施する種目があります。他方、一定の基準で決定する際に最大出場者数を上回っても時程表に大きな影響を与えない場合、最大出場者数を上回る出走を認めている種目があります。

勝ち上がりについて

●スプリント

男子エリート・ジュニア 予選タイム上位 8 名が 1/4 決勝進出。

女子エリート・ジュニア 予選タイム上位 4 名が 1/2 決勝進出、
5～8 位は予選タイムにより決定。

●個人追抜競走

男女エリート 予選タイム上位 2 名が決勝進出、
予選タイム 3～4 位の 2 名が 3・4 位決定戦へ進出。

男女ジュニア 予選タイム上位 2 名が決勝進出、
3 位以下は予選タイムにより決定。

男女 U-17 一発決勝（タイムレース）

●ケイリン

男子エリート・ジュニア 予選（3 組）各組上位 2 名が 2 回戦進出、
敗者復活戦（3 組）各組上位 2 名が 2 回戦進出、
2 回戦（2 組）各組上位 3 名が決勝進出。
7～12 位決定戦は行わない。

●チームスプリントおよび団体追抜競走

予選タイム上位 2 チームが決勝進出、
予選タイム 3～4 位の 2 チームが 3・4 位決定戦へ進出。
5 位以下は予選タイムにより決定。

- 1 適用規則：UCI 規則、JCF 規則、大会特別規則による。
- 2 ジャージ
参加申込手続きを行った都道府県、もしくは所属欄記載のチームジャージを着用のこと。
〔注意〕空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため（圧迫、引張、支持）の、付加的な衣類または物は禁じる。
（2011 JCF 規則第8条6項）
- 3 ヘルメット
JCF 公認ヘルメット、JKA 公認ヘルメットともに、ヘルメットに貼付されたステッカーにより公認ヘルメットであることが確認できるヘルメットのみが使用できる。
タイムトライアル専用ヘルメットの使用は、1KMTT,500MTT,IP,TP,TS,200MTT に限り認める。
集団走行練習時には使用できない。
- 4 ゼッケン等
2枚の時： 両腰下部に5CMの間隔をあけて2枚とも縦向きに装着
1枚の時： 腰中央下部に取り付ける。
200mTTは1枚でも良い。
ポイントレース、スクラッチは専用ゼッケンとフレーム番号を着用のこと。
（バイクインスペクション・デスクで配布する）
本大会でヘルメット・キャップを着用する種目は無い。
- 5 種目別参加確認
欠場の申し出は受付（ライセンスコントロール・ゼッケン配布）時に行うこと。
正当理由無き欠場には5000円のペナルティを課す。
TP,SPの出走者は変更なき場合も番組開始60分前までにセクレタリ宛届け出ること。
各自の出走15分前までにバイクチェックを受けること。
それ以外の招集は基本的に行わない。
怪我等による欠場の届出は適宜、セクレタリに書面にて提出のこと。
- 6 トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。
（2011JCF 規則第63条）
- 7 受付（ライセンスコントロール、ゼッケン配布）時にライセンスを提示しないものは、競技に参加できない。
主催者が登録を事前に確認済みである競技者がライセンス不所持の場合、参加料と同額のペナルティを付して出場を認める場合がある。 この判断は、コミッセルが行う。
- 8 UCI 規則に準拠し、異議申し立ては受け付けない。